

防災安全だより

～ 伊豆の国特別支援学校 防災安全課 令和7年10月発行 第2号

ちょっとした「知っている」がたくさん集まれば、いざという時の「助けに」

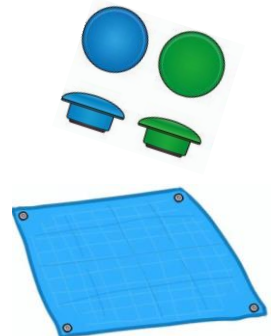
9月の防災の日に合わせ、本校の体育館では、伊豆の国市危機管理課によって避難所の設営訓練が実施されました。みなさんは、災害が起こって自宅で生活ができなくなった場合を想定したことがありますか？避難所で過ごすと言っても、いつもと違う環境であるだけに大きなハードルとなり、制限が多く不慣れな集団生活への不安も増します。だからこそ、日ごろから考えておくことがとても大切です。家族でもしもの時の対応方法について話し合うほか、防災グッズの準備もしっかり行っておきたいですね。そこで、今回は避難生活であつたら便利な防災グッズを紹介します。

～ほっと一息♡ 心休まるプライベートスペース グッズの紹介～

縦にも横にも使える【カプセルテント】



300円で作る【車のリヤゲートテント】



車の後方リヤゲートを開けて天井にし、磁石でビニールシートを固定するだけで、簡易テントに。

【リラックスグッズ】

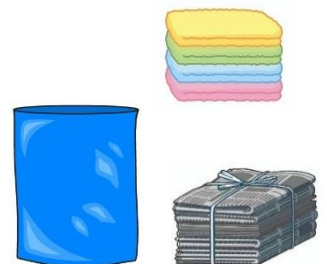
ちょっとした備えが心の安心に♡

いつもと違う環境、心がざわざわしますよね。そんな時こそ、ちょっとした「いつもと同じ」があると心の支え、安心につながるはず。感覚を刺激するグッズは脳のリラックス効果も期待できるそうです。



肌触りの良いタオル、クッション、感触グッズ、アロマオイル等々

身近な物をつかってつくる【パーテーション】



先端にフックが付いていて便利な100均の洗濯ロープ。新聞やタオル、ポリ袋をかけると、パーテーションに。

【台風】【竜巻】【線状降水帯】身近に迫る自然の脅威

静岡にも甚大な被害をもたらした台風15号。大雨災害発生の危険度が急激に高まる線状降水帯も発生し、牧之原市や吉田町では竜巻や大雨による被害が多くありました。本校のある伊豆の国市でも天気が急変し、強い雨、突風、雷が発生し、自然の怖さを実感しました。いつでもどこにでも起こりうる自然災害、あらゆることを想定した対策が大切です。以下では、竜巻時の身の守り方や事前にできる対策、グッズを紹介し

～命を守る行動、対策、便利グッズの紹介～

突風 これだけは

【一早く安全の確保、そして頑丈な場所へ避難】

1

積乱雲の
接近を察知



2

鉄筋コンクリート
の建物に避難



3

自宅ではトイレや
風呂に隠れる



頑丈な建物の1階、窓がなく四方が柱で囲まれた狭い空間であるトイレやお風呂に避難することが命を守ることにつながります。そして、何よりもまずは、一早く情報をキャッチするとともに、早めの判断、安全の確保が大切です。



<参考：NHK 防災より>

車からの脱出ができる【レスキューハンマー】



レスキューハンマーは小さく、少しの力で簡単にシートベルトを切ったり、窓ガラスを割ったりすることができます。

まずは、【危険を知る、知っておく】、
そして、【早めの判断、避難】が命を守る。



各市町より洪水や土砂災害のハザードマップが出されています。事前に危険箇所を知っておくことで、いざという時の判断材料にもなります。

今回は、被災時の便利グッズ、災害時の対策について紹介しました。いざという時に、安心して対応できるように、日頃から慣れて、知っておくことが大切です。ぜひ、この機会に意識してみたいはいかがでしょうか(＾O＾)／

～R7 年度 今後の防災訓練予定～

- ・年度内1回 抜き打ち地震訓練
- ・防犯研修(職員のみ)
- ・災害伝言ダイヤル「171」訓練 1月中旬を予定しています

※予定は変更する場合があります。

